

テーマ
**コロナとも戦うアスリートを
サポートする**
～TOKYO2020への多角的アプローチ～

会 期 2022年4月16日(土) 13:00～16:00

場 所 ステーションコンファレンス東京(JR東京駅日本橋口すぐ)

会 場 6階 602

主 催 一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

事前先着申込制 ※当日受付は行いません。

**参加費
無料**

(定員150名)

[第1部] コロナ禍のTOKYO2020に対する医学・心理学的サポート

[第2部] わたしたちはこうやってコロナ禍のオリパラを戦った～選手・スタッフのほんとのところ～

東京 2020大会 オリンピック出場 ウエイトリフティング 三宅宏美選手

東京 2020大会 パラリンピック出場 水泳 鈴木孝幸選手

東京 2020大会 オリンピック・パラリンピック 水泳 トレーナー 小泉圭介先生

東京 2020大会 オリンピック バスケットボール トレーナー 岩松真理恵先生

[プログラム]

13:00～13:05 / 開式の辞 奥脇 透 先生 競技スポーツ部会部会長

13:05～14:25 / **コロナ禍のTOKYO2020に対する医学・心理学的サポート**

座長：羽田 康司 先生(筑波大学医学医療系リハビリテーション医学)

1) 本委員会での検討内容の報告 ～コロナ禍におけるサポートの変遷～
半谷 美夏 先生(国立スポーツ科学センター スポーツメディカル
センター 整形外科)

2) 「バブルのハシゴ～コロナ禍の海外遠征からTOKYO2020へ～」
西野 衆文 先生(筑波大学医学医療系整形外科)

3) コロナ禍における東京2020までのパラ水泳代表選手の感染対策
青木 隆明 先生(岐阜大学医学部整形外科・リハビリテーション科)

4) TOKYO2020大会に向けたHPSCのメンタルサポート
～1年延期によるメンタル面の影響について～
立谷 泰久 先生(国立スポーツ科学センター)

14:25～14:40 / 休憩

14:40～15:55 / **わたしたちはこうやってコロナ禍のオリパラを戦った**

～選手・スタッフのほんとのところ～

座長：真鍋 知宏 先生(慶應義塾大学スポーツ医学研究センター)
李 小由 先生(公立昭和病院 整形外科)

1) 夢に向かって21年 三宅 宏美 先生

2) 「コロナ禍での大会への向き合い方」 鈴木 孝幸 先生

3) オリパラ水泳代表 両チームの活動の実際

小泉 圭介 先生(東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科)

4) バスケットボール女子銀メダル獲得の裏側

岩松 真理恵 先生(公益財団法人日本バスケットボール協会)

総合討論 45分

15:55～16:00 / 閉会の辞 奥脇 透 先生 競技スポーツ部会部会長

【お問合わせ先】

「一般社団法人日本臨床スポーツ医学会公開シンポジウム係」

TEL：03-6222-9874 FAX：03-6222-9875 e-mail：rnspon@rinspo.jp

お申込は裏面の参加申込書でFAXにて、学会ホームページの「公開シンポジウム」ページ、または右のQRコードよりお願いします。

